



「鹿児島島の賊軍 熊本城激戦図」

士族の「反乱」と

廃藩後の地域

—佐賀、熊本、そして鹿児島—

◇旧熊本藩の士族反乱と党派問題

今村 直樹 熊本大学永青文庫研究センター
准教授

◇「窮士御救助」をめぐる藩政・県政の葛藤 —困窮する鹿児島城下士の明治維新—

福元 啓介 尚古集成館
学芸員(主任)

◇佐賀の乱と科学技術 —旧佐賀藩士の関わり—

坂本 卓也 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
講師(研究機関研究員)

◇明治初期佐賀における「団結」

伊藤 昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
教授・センター長

【コメント】

丹羽 謙治 鹿児島大学法文学部 教授
同学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター
センター長



「皇国—新見聞誌 佐賀の事件」

日時／令和7年 **2月15日(土)**

時間／13:00～17:15 (12:30開場)

会場／佐賀大学本庄キャンパス教養教育大講義室

背景画像「征韓論之図」
(元資料の所蔵：いずれも東京都立中央図書館)

聴講無料

自動車での入構

1時間無料

その後は1時間毎に
100円加算されます

主催

お問い合わせ先

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〒840-8502 佐賀市本庄町1 TEL/FAX 0952-28-8378

【共催】

熊本大学永青文庫研究センター

第14回地域学シンポジウム

維新の勝者だったはずの西南諸藩の士族たちは、廃藩置県後、領主・軍人としての地位を失います。中央政府の方針に耐えかね、立ち上がる者が現れます。軍事的敗北によってその可能性は消え失せてしまうわけですが、この時期の彼らは、地域の中でいかなる模索を積み重ね、どのような社会を展望していたのでしょうか。旧藩社会の特質がどう廃藩置県後の士族社会へとつながり、それがどう戦いの性格を規定したのでしょうか。佐賀・熊本・鹿児島 の事例を比較する形で、この問題に迫ります。

士族の「反乱」と

廃藩後の地域

— 佐賀、熊本、そして鹿児島 —

事前
予約制

いただいた予約情報は、本シンポジウムへのご参加にかかわること以外の目的では使用いたしません。



「征韓論之図」
(元資料の所蔵：いずれも東京都立中央図書館)

ウェブフォーム(スマートフォン・パソコン・タブレット等)での申込み

右の二次元コードまたは下記URLよりお申込みください。
<https://forms.office.com/r/Z2MRHGug2p>

※1回の入力で1名のみお申込みいただけます。

※講演会終了までは、応募時のメールアドレスを変更しないでください。



電話・FAXでの申込み

下記の佐賀大学地域学歴史文化研究センターの番号へお申し込みください。

●電話の場合

平日10～12、13～15時にお願いします。

●FAXの場合

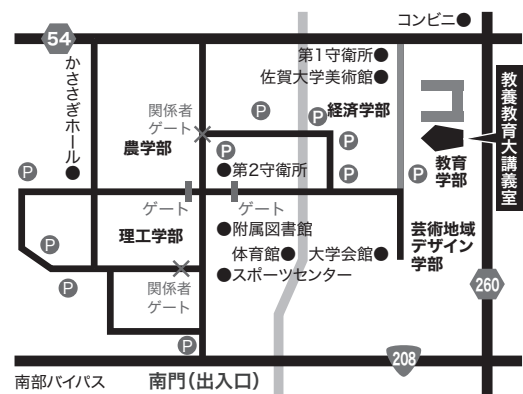
「2/15参加予約」と書き、

①氏名、②お電話番号をご記載ください。

TEL/FAX **0952-28-8378**

会場

佐賀大学本庄キャンパス教養教育大講義室



※お車の方は、南門から入り、図書館北のゲートをお通り下さい。